

第3回 熊野川懇談会

参考資料

## 目 次

	頁
参考資料 1 経過報告 .....	1
参考資料 2 委員補充について .....	5
参考資料 3 現地視察会について .....	7
参考資料 4 熊野川懇談会の進め方について .....	16

## 参考資料 1 経過報告

## 第3回熊野川懇談会広報オープンハウスについて

熊野川懇談会の衆知を図るために、熊野川懇談会のオープンハウスを、7月17日(日)に鵜殿村で開催された「日本一小さい村の港まつり」に合わせて開催いたしました。内容は以下のとおりです。

### <開催概要>

- 開催日時 平成17年7月17日(日) 15:00~19:00
- 開催場所 鵜殿港(鵜殿村)港まつり会場
- 展示項目
- ・ 熊野川に生息する魚を展示
  - ・ パネル展示(熊野川懇談会の概要、熊野川の紹介等)
  - ・ 魚すくい
  - ・ アンケート調査、その他

### <写真 会場風景>

港まつり



展示内容








魚すくいと魚展示



会場風景



## 展示内容

項目	内容	状況
魚展示	熊野川に生息する魚類、水生生物を展示しました。水槽は4つ準備し、採取場所別に展示しました。(熊野川河口域、下流域、相野谷川、高田川)	
パネル展示	熊野川懇談会の概要や第3回懇談会の案内、熊野川の紹介等をパネルで展示しました。	
魚すくい	子供たちが魚に触れる機会を提供しようと魚すくいを行いました。ゴムボートに水を張り、その中に熊野川で採った魚を放ち、網で子供たちにすくってもらいました。	
アンケート	来場者を対象に懇談会の知名度や熊野川のイメージ等を調べるため簡単なアンケートを行いました。	
クイズ	子供を対象に魚に関する簡単なクイズを行いました。	

## アンケート調査結果

熊野川懇談会の知名度や熊野川のイメージについて調査するため簡単なアンケート調査を行いました。アンケートの概要は以下のとおりです。

<アンケートの概要>

回答総数 342人(大人のみ、内訳：男性100人 女性：242人)

(主な設問内容)

年齢

お住まい

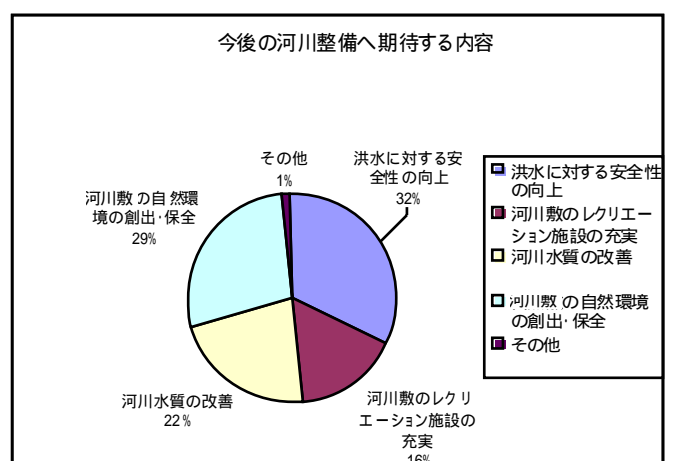
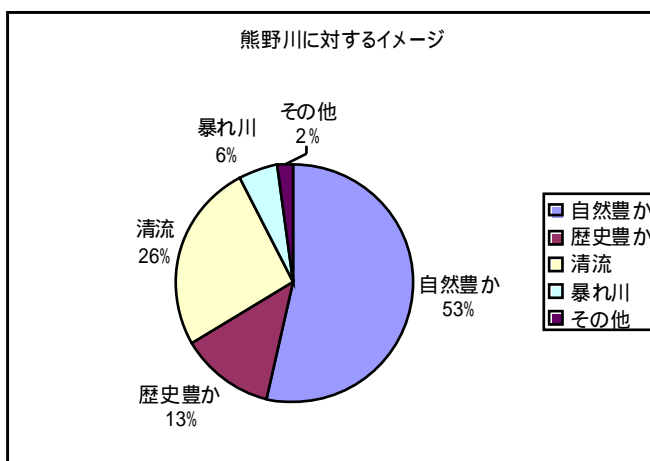
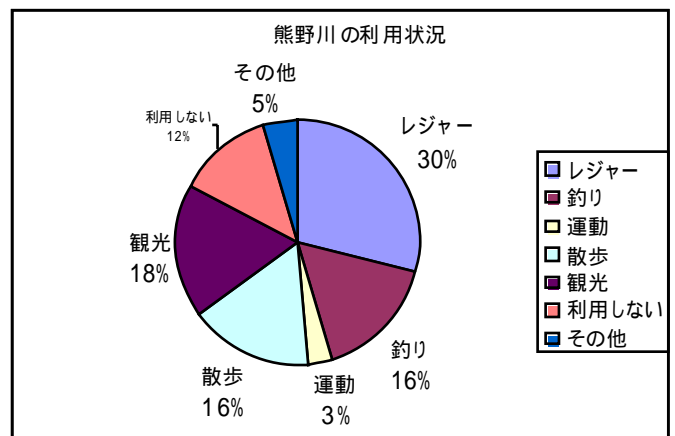
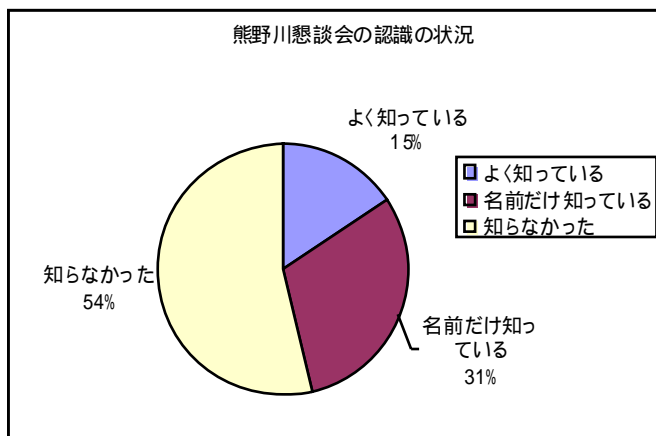
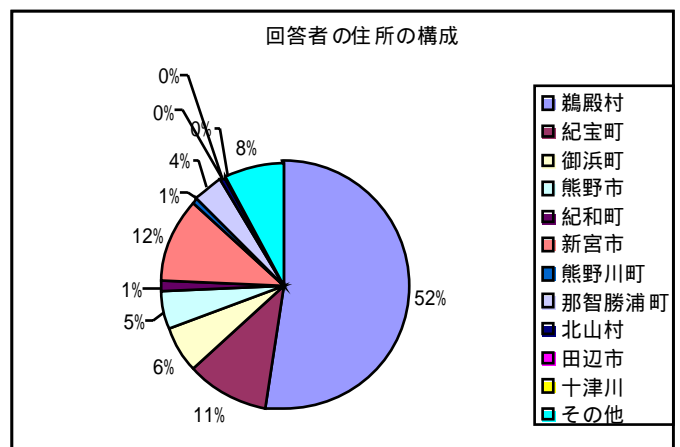
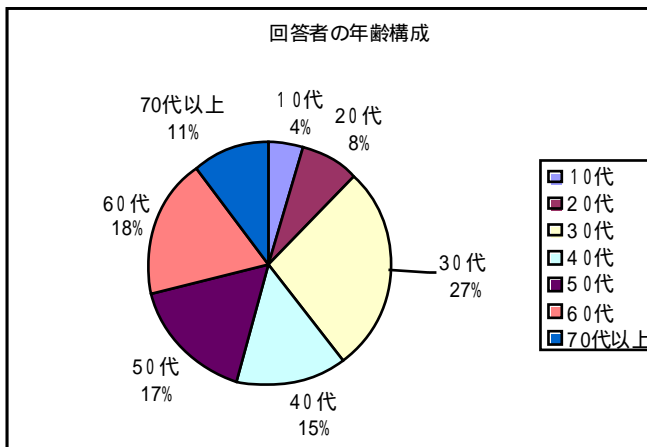
「熊野川懇談会」を以前から知っていましたか

熊野川をどのように利用したことがありますか(複数回答可)

熊野川に対してどんなイメージがありますか(複数回答可)

今後の河川整備に何を期待しますか(複数回答可)

<アンケート調査結果>



## 参考資料 2 委員補充について

## 懇談会委員選考の経緯について

### 懇談会委員選考の経緯

熊野川懇談会の委員は、以下の5名の委員で構成された設立準備会の審議により選考されました。

< 設立準備会委員 >

(五十音順・敬称略)

氏名	専門分野	所属等(平成16年8月当時)
江頭 進治	河川(砂防、河床変動)	立命館大学理工学部教授
木本 凱夫	農業水利	三重大学生物資源学部助教授
神坂 次郎	歴史・文化	作家・日本ペンクラブ理事
瀧野 秀二	水生生物、植物	和歌山県立新宮高校教諭
竹中 文博	広報	株式会社和歌山放送相談役

< 設立準備会の開催経緯 >

年月日	設立準備会	内容
平成15年12月20日(土)	第1回設立準備会	準備会設立、準備会規約策定等
平成16年3月26日(金)	第2回設立準備会	懇談会の委員構成等
平成16年6月19日(土)	第3回設立準備会	懇談会委員候補選考
平成16年8月2日(月)	第4回設立準備会	懇談会委員構成、懇談会のあり方、答申

< 選考方針 >

設立準備会の委員は、懇談会委員の候補となる。

推薦委員、公募委員については、以下の項目に該当する者を選考する。

- ・ 熊野川に関する審議をする際に必要な専門知識を有しているひと
- ・ 熊野地方の歴史・文化等に詳しいひと
- ・ 熊野川流域での調査研究を通して熊野川の特性を理解しているひと
- ・ 熊野川の流域の特性に詳しく、熊野川に関連して積極的に活動しているひと

< 選考結果 >

分野構成に従い熊野川懇談会委員(候補)として16名を選考しました。

### 懇談会委員の委員構成

設立準備会においては、熊野川懇談会の審議に必要と考えられる分野別構成員数を定め、委員選考を行いました。

< 表 熊野川懇談会分野別委員構成 >

分野	構成員数	備考
治水・利水・水力・水資源・環境工学分野	6	
自然環境分野	2	
社会環境分野(歴史等)	3	
社会環境分野(広報等)	2	竹中委員の辞任に伴い1名となる 広報分野の専門家が不在
地域の特性(公募)	3	
計	16	

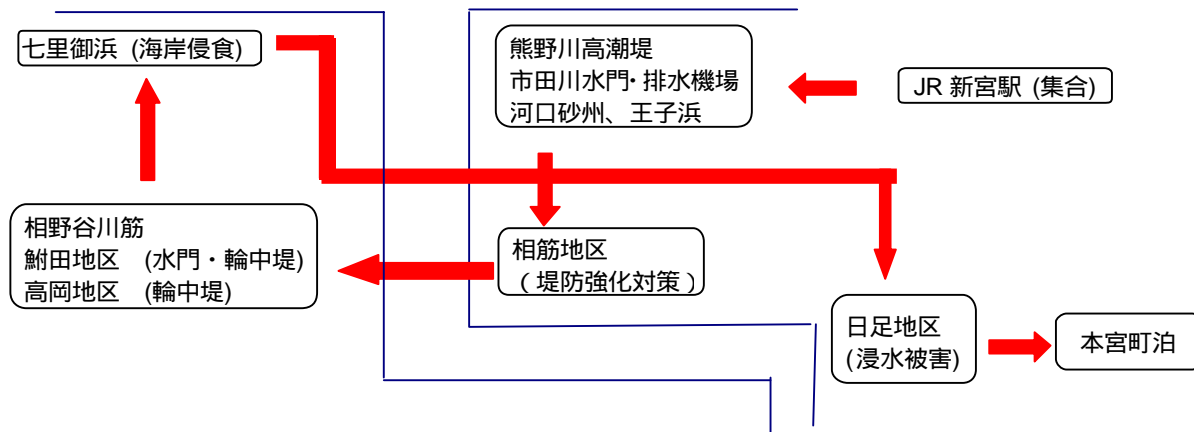


## 参考資料 3 現地視察会について

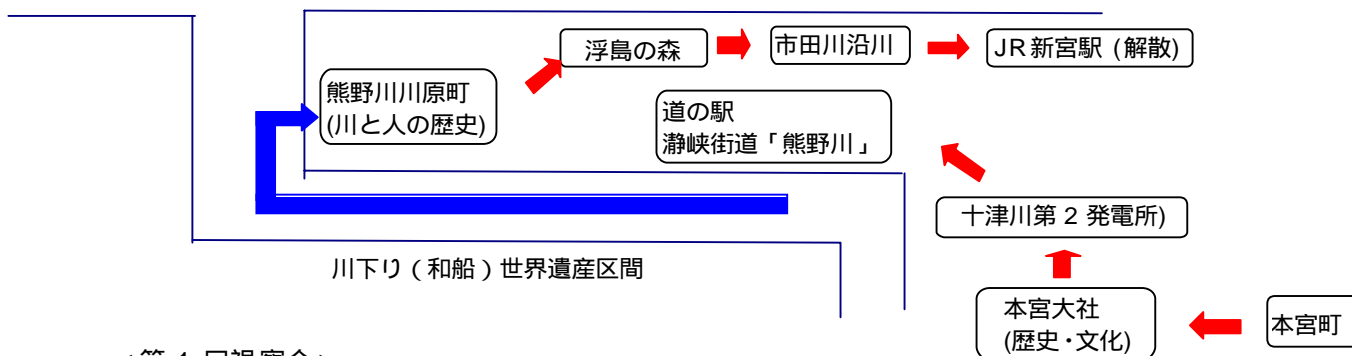
## (1) 現地視察会の概要

### 第1回 現地視察会

#### (1日目)



#### (2日目)

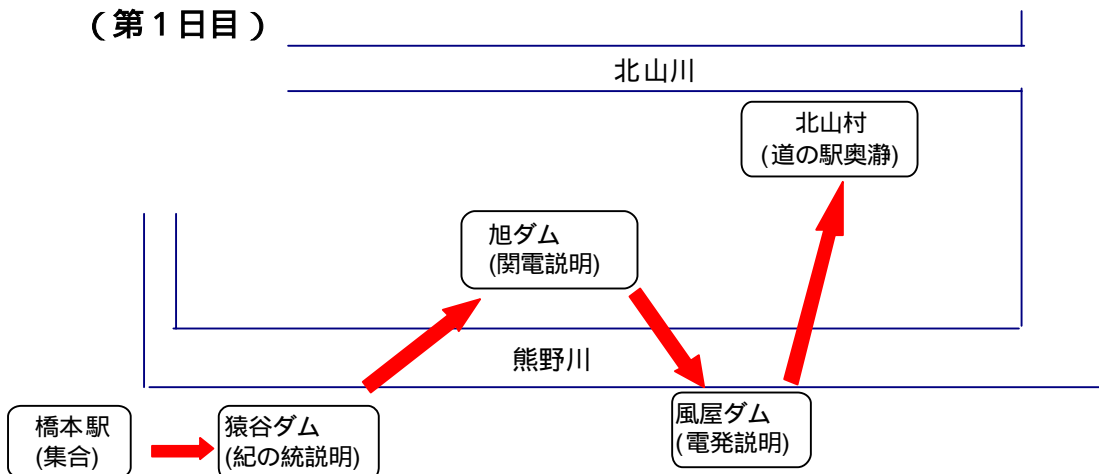


#### < 第1回視察会 >

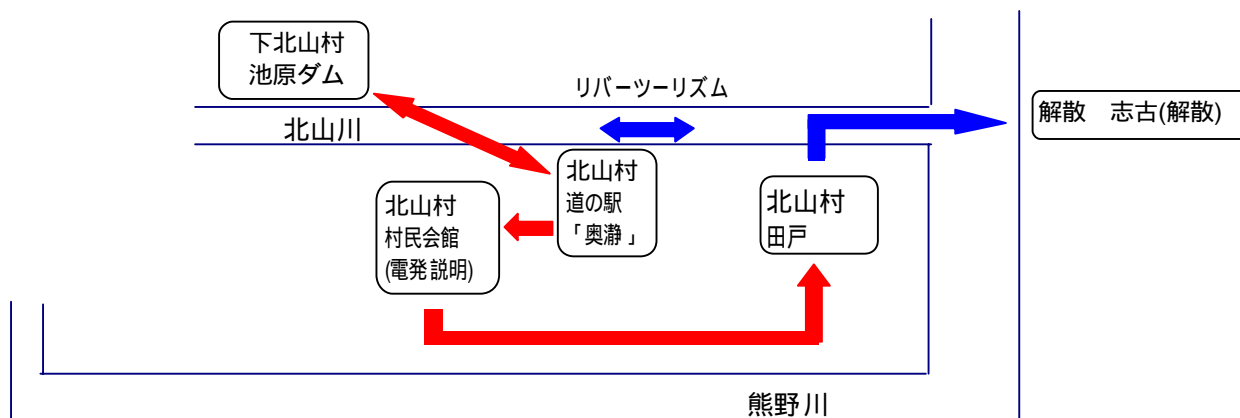
	対象施設	説明者	説明内容
1 日 目	熊野川右岸高潮堤	紀南河川国道事務所	高潮堤の役割、機能
	市田川水門・排水機場	〃	市田川排水機場、水門の役割、機能
	河口砂州	〃	河口砂州の規模、形状、特性
	相筋地区堤防	〃	相筋地区堤防の形状、問題点等
	相野谷川の河川整備	〃	相野谷川の治水事業の経緯、整備内容
	鮎田水門	〃	鮎田水門の役割、構造等
	鮎田地区、高岡地区輪中堤	〃	輪中堤の役割、配置、構造等 浸水被害の状況
	七里御浜	三重県南牟婁振興局	七里御浜の現況と高潮対策事業
2 日 目	熊野川町日足地区	和歌山県河川課	日足地区の浸水被害の状況
	熊野本宮大社	宮司(代理)	熊野本宮の歴史、熊野詣
	十津川第1発電所	電源開発	熊野川の発電事業 濁水の状況と濁水対策
	川の参詣道(熊野川)	懇談会委員	川の参詣道としての熊野川の歴史、舟運の歴史
	熊野速玉大社	宮司(代理)	熊野速玉大社、熊野詣の歴史
	浮島の森	懇談会委員	浮島の森の概要
	市田川	紀南河川国道事務所	市田川の現況(護岸構造等)

第2回 現地視察会

(第1日目)



(第2日目)



< 第2回視察会 >

	対象施設	説明者	説明概要
1 日 目	猿谷ダム	紀の川ダム統合管理事務所	猿谷ダムの流域概要 猿谷ダムの役割と構造 十津川紀の川総合開発計画の概要等
	旭ダム	関西電力	奥吉野発電所の役割とその構造、濁水パイパス放流施設の構造とその効果
	風屋ダム	電源開発	風屋ダムの役割、構造と濁水対策
2 日 目	池原ダム	〃	池原ダムの役割、構造と濁水対策
	リバーツーリズム	懇談会委員	自然環境等
	北山村 村民会館	電源開発	北山川筋の発電事業

## (2) 現地視察会の詳細

熊野川懇談会においては、流域の現況を把握するため2回に分けて現地視察会を行いました。

開催日時：第1回現地視察会 平成16年4月21・22日（参加 11名）

第2回現地視察会 平成16年5月14・15日（参加 8名）

参加できなかった委員の方々には、同一行程で別途視察会を開催しました。

### 第1回 現地視察会（1日目）の視察内容



#### （第1回現地視察会）

	対象施設	説明内容	視察状況
1 日 目	熊野川右岸高潮堤	紀南河川国道事務所より高潮堤の役割、機能についての説明がありました。	
	市田川水門・排水機場	紀南河川国道事務所より市田川排水機場の役割、機能についての説明がありました。	
	河口砂州 ・王子ヶ浜	紀南河川国道事務所より河口砂州、王子ヶ浜の規模、形状、特性についての説明がありました。	

1 目 目	相筋地区堤防	紀南河川国道事務所より相筋地区堤防の形状、問題点等についての説明がありました。	
	相野谷川の河川整備 鮎田水門	紀南河川国道事務所より相野谷川の治水事業の経緯、整備内容についての説明がありました。	
	鮎田地区輪中堤	紀南事河川国道事務所より鮎田水門の役割、構造や、輪中堤の役割、配置、構造についての説明がありました。	
	高岡地区輪中堤	紀南河川国道事務所より輪中堤の役割、配置、構造等についての説明がありました。また、近年の浸水被害の状況についての説明がありました。	
	七里御浜	三重県南牟婁振興局より七里御浜の現況と高潮対策事業についての説明がありました。	
	熊野川町日足地区	和歌山県河川課より日足地区の浸水被害の状況についての説明がありました。	



第1回現地視察会(2日目)の視察内容



(第1回現地視察会)

	対象施設	説明内容	視察状況
2 日 目	熊野本宮大社	本宮大社の宮司(代理)より熊野本宮の歴史、熊野詣について説明がありました 大斎原(旧社地)では懇談会委員より熊野詣の歴史に関する情報の提供がありました。	
	十津川第1発電所	電源開発(株)より熊野川流域の発電事業の概要や濁水の状況および濁水対策についての説明がありました。	
	川の参詣道(熊野川)	懇談会委員より川の参詣道としての熊野川の歴史、舟運の歴史等の説明がありました。また、到着地点の新宮大社前の川原では、昔この地にあった「川原町」についての説明がありました。	


2 日 目	熊野速玉大社	宮司(代理)より熊野速玉大社、熊野詣の歴史についての説明がありました。	
	浮島の森	懇談会委員より浮島の森の特性、植物層の特徴に関する説明がありました。	
	市田川	紀南河川国道事務所より市田川の河道特性や護岸構造、水質等に関する説明がありました。	



第2回 現地視察会の視察内容



(第2回 現地視察会)

	対象施設	説明内容	視察状況
1 日 目	猿谷ダム	紀の川ダム統合管理事務所より猿谷ダムの流域の概要や役割、構造、十津川紀の川総合開発計画の概要等についての説明がありました。	



1 日 目	旭ダム	関西電力(株)より奥吉野発電所の役割とその構造、濁水バイパス放流施設の構造とその効果等についての説明がありました。	
	風屋ダム	電源開発(株)により風屋ダムの役割、構造と濁水対策についての説明がありました。	
2 日 目	池原ダム	電源開発(株)により池原ダムの役割、構造と濁水対策についての説明がありました。	
	リバーツーリズム	懇談会委員により北山川沿川の生態系に関する説明がありました。	
	北山村村民会館	電源開発(株)により熊野川流域の発電事業の概要や濁水の状況および濁水対策についての説明がありました。	

## 参考資料 4 熊野川懇談会の進め方について

## (1) 第2回懇談会での審議内容

第2回懇談会における情報の共有化に関する審議内容は以下のとおりです。

### 1. 地域・地域住民・共同体との情報の共有化

「熊野川を語る会」「オープンハウス」の実施

- ・ 多くの住民に参加いただける方策を考える
- ・ 地域住民における本当の問題点の確認を行うことが重要である
- ・ 懇談会委員（有志）、地域住民・行政、河川管理者等が共に参加しうる形にする
- ・ 地域の自主的な取り組みとの協調を図る

### 2. 懇談会委員同士の情報の共有化

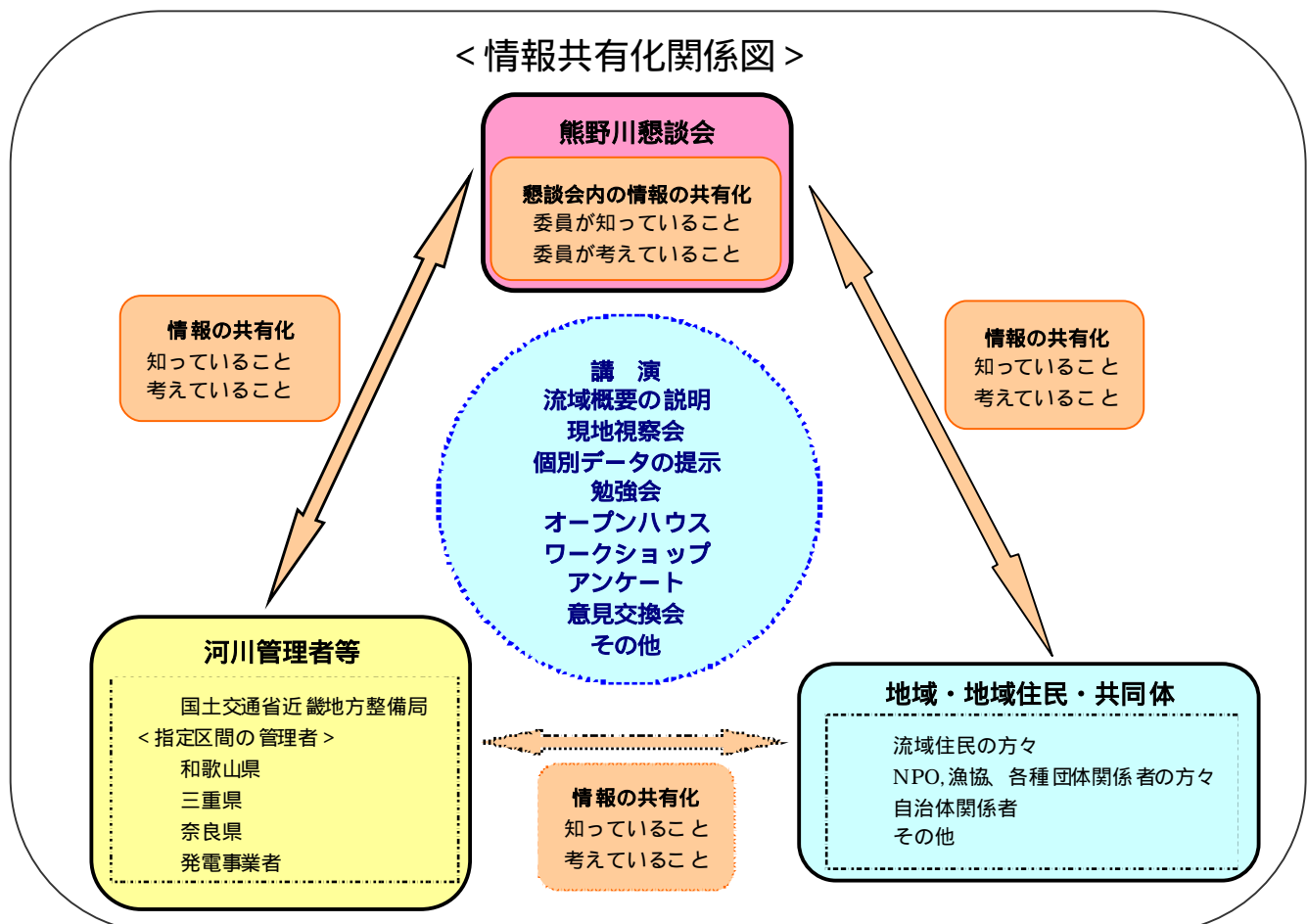
ワーキングの実施

- ・ 分野（テーマ）ごとに懇談会委員やその他専門家が集まり議論を行う
- ・ 集めた情報の収集、解析を行う

### 3. 河川管理者との情報の共有化

情報共有化手続きの策定

- ・ 河川管理者の有する情報の有無がわかるようにしてほしい



## (2) ワーキングの開催方法(参考案)

### 第1回ワーキング

#### 目的・内容

「語る会」「オープンハウス」の運営方法を協議する。

「語る会」「オープンハウス」での住民意見の聴取・整理・分類・まとめ方を協議する。

#### まとめ役

以下に該当する委員の中から1名を選考する。

- ・ 希望する懇談会委員
- ・ ワーキングの目的に必要な専門知識を有する懇談会委員

#### 公開の有無

- ・ 非公開で開催するが、審議内容(議事骨子)については懇談会で報告・公開する。

#### 開催時期

- ・ 参加委員の日程調整を行い、できるだけ早急に開催する。

#### 開催場所

- ・ 出席する委員と調整し場所を選定する。

### 第2回ワーキング

#### 目的・内容

治水分野の勉強会として開催する

#### まとめ役

以下に該当する委員の中から1名を選考する。

- ・ 希望する懇談会委員
- ・ ワーキングの目的に必要な専門知識を有する懇談会委員

#### 公開の有無

- ・ 非公開で開催するが、審議内容(議事骨子)は懇談会で報告・公開する。

#### 開催時期

- ・ 次回懇談会の1ヶ月程前に開催する。また、必要に応じて適宜開催する。

#### 開催場所

- ・ 出席する委員と調整し場所を選定する。

## (3) ワーキング(部会、勉強会等)の開催事例

ワーキング開催の参考事例として、他の流域委員会における、部会、分科会の開催状況を以下に示します。

## &lt;他の流域における部会、分科会の開催状況&gt;

名称	委員数	部会・分科会	備考
淀川流域委員会	22	<地域部会> 琵琶湖部会 淀川部会 猪名川部会 <テーマ別部会> 治水部会 利水部会 環境部会 住民参加部会 <その他> 勉強会	【当初】 ・委員会委員の他に有識者が参加
	28	<地域部会> 琵琶湖部会 淀川部会 猪名川部会 木津川上流部会 <テーマ別部会> 利水・水需要管理部会 住民参加部会 <ワーキンググループ> 水位操作WG	【現在】 ・委員会委員が各部会に重複して所属 ・WGには河川管理者も参加
由良川流域委員会	15	なし	
紀の川流域委員会	23	勉強会の設置	・工事実施基本計画に対する専門的な理解を深めるため開催
揖保川流域委員会	20	利水・治水・自然環境分科会 地域社会分科会 情報発信・啓発分科会	・すべての委員がいずれかの分科会に所属する ・会議及び審議結果は公開を原則 ・河川管理者も出席
九頭竜川流域委員会	22	なし	
円山川流域委員会	23	課題検討会	・「円山川の現状の正確な認識と理解」および「諸課題の抽出と対策に関する議論の十分な準備作業」を行うため開催 ・会議および審議結果は、直後の流域委員会で報告 ・河川管理者も出席
大和川流域委員会	17	なし	

## (4)「熊野川を語る会」の開催方法(参考案)

### (1)「熊野川を語る会」について

#### 目的

流域の抱える問題点を直接対話することにより明らかにする。

#### 開催場所・日時について

- ・ 開催場所は、以下に示す流域内の4箇所とする。
- ・ 開催日は、9月中旬～10月の間で出席する懇談会委員の日程を調整し決定する。

<開催案>

開催場所	対象地域	備考
熊野川下流域	新宮市、鷺殿村、紀宝町、御浜町、熊野市	職業訓練センター等
熊野川中流域	熊野川町、田辺市本宮町、十津川村	本宮町役場等
北山川周辺	上北山村、下北山村、北山村、紀和町	北山村村民会館等
猿谷ダム周辺	野迫川村、大塔村、天川村	猿谷ダム管理支所等

#### 参加委員

- ・ 希望者および対象地域の諸事情に対応できる委員

#### 開催内容

- ・ 発表者のスピーチの他、自由に意見を述べ合う意見交換会を行う。

#### 発表者の対象および募集方法

- ・ 対象 地域住民、行政、NPO、各種団体、その他
- ・ 募集方法

対象	備考
地域住民	チラシ(流域全体)、ラジオ、その他
行政	パンフレット、案内状の送付
NPO、各種団体	案内状の送付

#### 発表テーマ

意見の集約を図るため発言のテーマは熊野川に関する内容に限定する。

(例) 「熊野川への要望」「熊野川への想い」「熊野川の問題点」等

#### その他

- ・ 流域住民と懇談会委員の親睦を深める方法についても検討する。
- ・ できるだけ地域のイベントに合わせて開催する。

### (2)オープンハウスについて

#### 目的

- ・ 熊野川懇談会の衆知および懇談会への参加員数の拡大、住民意見の収集

#### 開催場所・日時

- ・ 流域のイベント等に合わせて開催する。

#### 開催内容

- ・ 「熊野川懇談会」「語る会」の広報としてのパネル展示、パンフレット配布
- ・ アンケート等による住民意見の収集

## (5)「語る会」等の開催事例

「語る会」の開催事例として、他の流域委員会における地域・地域住民等との情報の共有化手法を以下に示します。

### <他の流域における部会、分科会の開催状況>

名 称	情報の共有化手法	備考
淀川流域委員会	議事において一般からの意見聴取を実施	
由良川流域委員会	住民意識調査(アンケート)の実施	
紀の川流域委員会	特に無し	
揖保川流域委員会	「揖保川を語り、生かす集い」	流域内の3箇所で開催 意見発表、質疑応答、意見交換等を実施 各会場ごとに、必要に応じ委員、河川管理者から話題を提供
九頭竜川流域委員会	特に無し	
円山川流域委員会	特に無し	
大和川流域委員会	特に無し	